DAIWAKAN
ALWAYS THINK OF YOU

きゅう灸やわら

ご使用説明書

この使用説明書をよくお読みになり、正しく安全な使い方を心がけてください。使用説明書は必要な時に読めるよう、大切に保管してください。

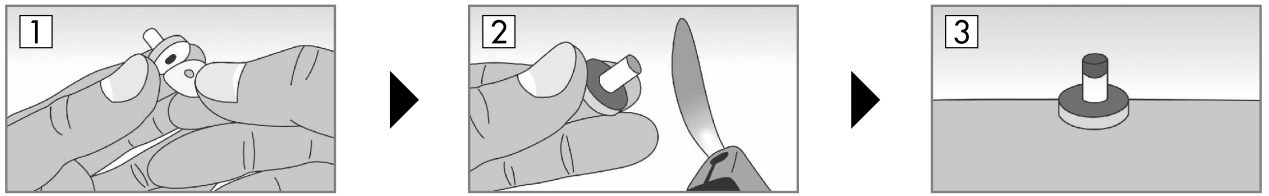
⚠ご注意ください

- ●ご使用の際にやけどが生じる場合がありますので十分ご注意ください。
- ●ご使用中お肌に熱さを強く感じた時は、ただちに位置をずらすか、ご使用を中止してください。
- ●お肌の弱い部分へのご使用には十分ご注意ください。
- ●間違った使用法はトラブルの原因です。使用上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。

あなたにあった施灸ポイントを見つけるために

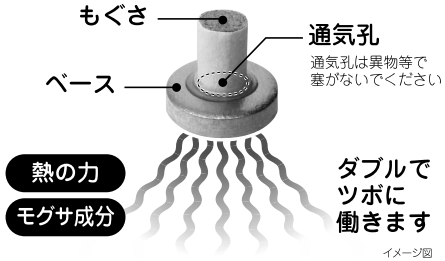
- ●施灸ポイントは人によって多少異なります。裏面の施灸ポイント一例を参照に、あなたの状態にあった施灸ポイントを見つけましょう。
- ●体の力を抜き深呼吸して、リラックスした状態で施灸ポイントと思われる部分に触れてみてください。痛みやしこりのある部分があなたの施灸ポイントです。同様に第2・第3・・・のポイントへ施灸しましょう。

ご使用方法



1．ベースの裏紙を剥がします　2．もぐさに火を着けます　3．ツボにあわせて据えます

●お灸とは



イメージ図

お灸の起源は約3500年前の中国北東部と言われており、当時は皮膚を焼くことを治療行為としていました。そのためか、お灸は熱いという印象だけが残り、大勢の人をお灸から遠ざけました。しかし、本品は皮膚とモグサの間に空間をもうけることにより皮膚に直接モグサを触れさせず、通気孔から放出する熱の力とモグサ成分でツボを刺激します。しかし、本品は火を取り扱うため、火傷の発生を100%防ぐことは出来ません。取扱説明書をよくお読みの上、ご使用下さい。

●あなたにあったお灸を選ぶため

- ●初めての方はまず、**ソフトタイプ**からご使用ください。その後、より熱さの強いものをお求めの際は、**レギュラータイプ**をご使用ください。
- ●レギュラータイプから始めますと、火傷や水泡形成の可能性があります

●あなたにあった施灸のために

- ●**初めての方は、ツボの箇所に1日1回1粒、ツボへは3ヶ所以下ぐらい**を目安にご使用ください。
- ●熱さに対する反応は個人差がありますので、ご自分の体調に合わせながら、心地よい範囲内でご使用ください。

●次の方は使用しないでください

- ●発熱のある方。　●幼児。
- ●使用中、自分の意思で中止、または取り外すことのできない方。

⚠ ご使用に際しての注意

- ■本品で低温火傷をする事がありますので、注意深く観察し、熱いと感じたり、変化・異常が現れた場合は早急に取り除いてください。刺激量が多いと、水泡が生じ痕が残ったり、灸あたりの為、だるくなる場合があります。
- ■初めてご使用される方、お肌の弱い方や敏感な方のご使用は十分ご注意ください。
- ■お肌の弱い部分（腹部等）のご使用には十分ご注意下さい。
- ■湿疹・粘膜・かぶれ・顔面部・傷口部・腫脹部・外用薬塗布部にはご使用しないでください。
- ■汗をかいた場合等お肌が濡れている時には、水分をよくふき取ってからご使用ください。一度皮膚に貼付したものは粘着力が低下しますので使用しないで下さい。
- ■過去に、薬や化粧品などが原因でアレルギー症状を起こしたことのある方、また、糖尿病や血行に障害のある方、妊娠中の方などは、事前に医師または薬剤師にご相談ください。
- ■火傷に注意し、火の取り扱いは十分にご注意ください。
- ■通気孔は異物等で塞がないでください。
- ■使用後にもぐさの成分により皮膚表面に色素沈着がまれに見られる場合がありますが、身体には問題ありません。
- ■施灸中は身体を大きく動かさないでください。又、施灸中は火種又は灰がベースより直接皮膚などへ落ちる恐れがありますのでご注意下さい。
- ■火を扱いますので火災には十分ご注意下さい。

⚠ 保管時・使用後の取扱いについて

- ■もぐさの特性上、湿気を避けて保管して下さい。本品を水等で濡らさないで下さい。
- ■幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- ■本品は食べられません。お灸以外の目的には使用しないでください。
- ■使用後は完全に冷めたことを確かめてお捨てください。（但しトレイは別）
- ■ゴミの分別は自治体によって異なりますのでご確認ください。

疑問・ご質問などのお問い合わせは
0120 0120-148-600
受付時間 午前9:00～午後5:00（土・日・祝日は休み）

DAIWAKAN
ALWAYS THINK OF YOU

きゅう灸だるま

ご使用説明書

この使用説明書をよくお読みになり、正しく安全な使い方を心がけてください。使用説明書は必要な時に読めるよう、大切に保管してください。

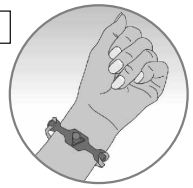
⚠ご注意ください

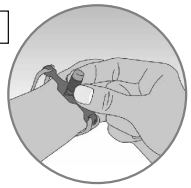
●ご使用の際にやけどが生じる場合がありますので十分ご注意ください。
●ご使用中お肌に熱さを強く感じた時は、ただちに位置をずらすか、ご使用を中止してください。
●お肌の弱い部分へのご使用には十分ご注意ください。
●間違った使用法はトラブルの原因です。使用上の注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。

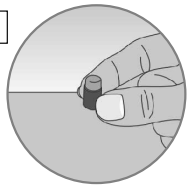
あなたにあった施灸ポイントを見つけるために

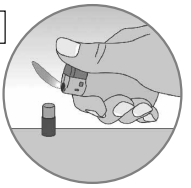
●施灸ポイントは人によって多少異なります。裏面の施灸ポイント一例を参照に、あなたの状態にあった施灸ポイントを見つけましょう。
●体の力を抜き深呼吸して、リラックスした状態で施灸ポイントと思われる部分に触れてみてください。痛みやしこりのある部分があなたの施灸ポイントです。同様に第2・第3・・・のポイントへ施灸しましょう。

ご使用方法

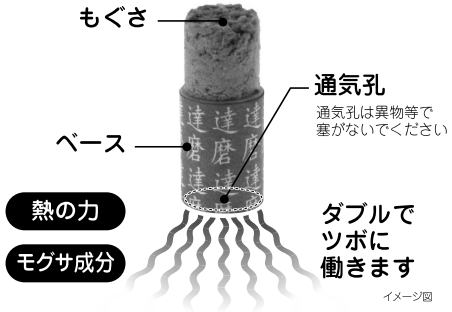
1 
もぐさを押し上げる為のリストバンドを手首へ巻きます。

2 
灸をパレットより取り出し、リストバンドの突起部へ差し込み、もぐさを押し上げます。このとき、勢いよく差し込むと、もぐさが飛び出す恐れがありますので、ゆっくりと差し込んでください。

3 
ツボにあわせて灸を据えます。

4 
皮膚から離して着火し、もぐさの先端へ火をつけます。

●お灸とは



お灸の起源は約3500年前の中国北東部と言われており、当時は皮膚を焼くことを治療行為としていました。そのためか、お灸は熱いという印象だけが残り、大勢の人をお灸から遠ざけました。しかし、本品は皮膚とモグサの間に空間をもうけることにより皮膚に直接モグサを触れさせず、通気孔から放出する熱の力とモグサ成分でツボを刺激します。しかし、本品は火を取り扱うため、火傷の発生を100%防ぐことは出来ません。取扱説明書をよくお読みの上、ご使用下さい。

●あなたにあったお灸を選ぶため

●初めての方はまず、**ソフトタイプ**からご使用ください。その後、より熱さの強いものをお求めの際は、**レギュラータイプ**をご使用ください。
●レギュラータイプから始めますと、火傷や水泡形成の可能性があります

●あなたにあった施灸のために

●**初めての方は、ツボの箇所に1日1回1粒、ツボへは3ヶ所以下ぐらい**を目安にご使用ください。
●熱さに対する反応は個人差がありますので、ご自分の体調に合わせながら、心地よい範囲内でご使用ください。

●次の方は使用しないでください

●発熱のある方。　●幼児。
●使用中、自分の意思で中止、または取り外すことのできない方。

⚠ ご使用に際しての注意

■本品で低温火傷をする事がありますので、注意深く観察し、熱いと感じたり、変化・異常が現れた場合は早急に取り除いてください。刺激量が多いと、水泡が生じ痕が残ったり、灸あたりの為、だるくなる場合があります。
■初めてご使用される方、お肌の弱い方や敏感な方のご使用は十分ご注意ください。
■お肌の弱い部分（腹部等）のご使用には十分ご注意下さい。
■湿疹・粘膜・かぶれ・顔面部・傷口部・腫脹部・外用薬塗布部にはご使用しないでください。
■汗をかいた場合等お肌が濡れている時には、水分をよくふき取ってからご使用ください。一度皮膚に貼付したものは粘着力が低下しますので使用しないで下さい。
■過去に、薬や化粧品などが原因でアレルギー症状を起こしたことのある方、また、糖尿病や血行に障害のある方、妊娠中の方などは、事前に医師または薬剤師にご相談ください。
■火傷に注意し、火の取り扱いは十分にご注意ください。
■通気孔は異物等で塞がないでください。
■使用後にもぐさの成分により皮膚表面に色素沈着がまれに見られる場合がありますが、身体には問題ありません。
■施灸中は身体を大きく動かさないでください。又、施灸中は火種又は灰がベースより直接皮膚などへ落ちる恐れがありますのでご注意下さい。
■火を扱いますので火災には十分ご注意下さい。

⚠ 保管時・使用後の取扱いについて

■もぐさの特性上、湿気を避けて保管して下さい。本品を水等で濡らさないで下さい。
■幼児の手の届かない所に保管して下さい。
■本品は食べられません。お灸以外の目的には使用しないでください。
■使用後は完全に冷めたことを確かめてお捨てください。
■ゴミの分別は自治体によって異なりますのでご確認ください。

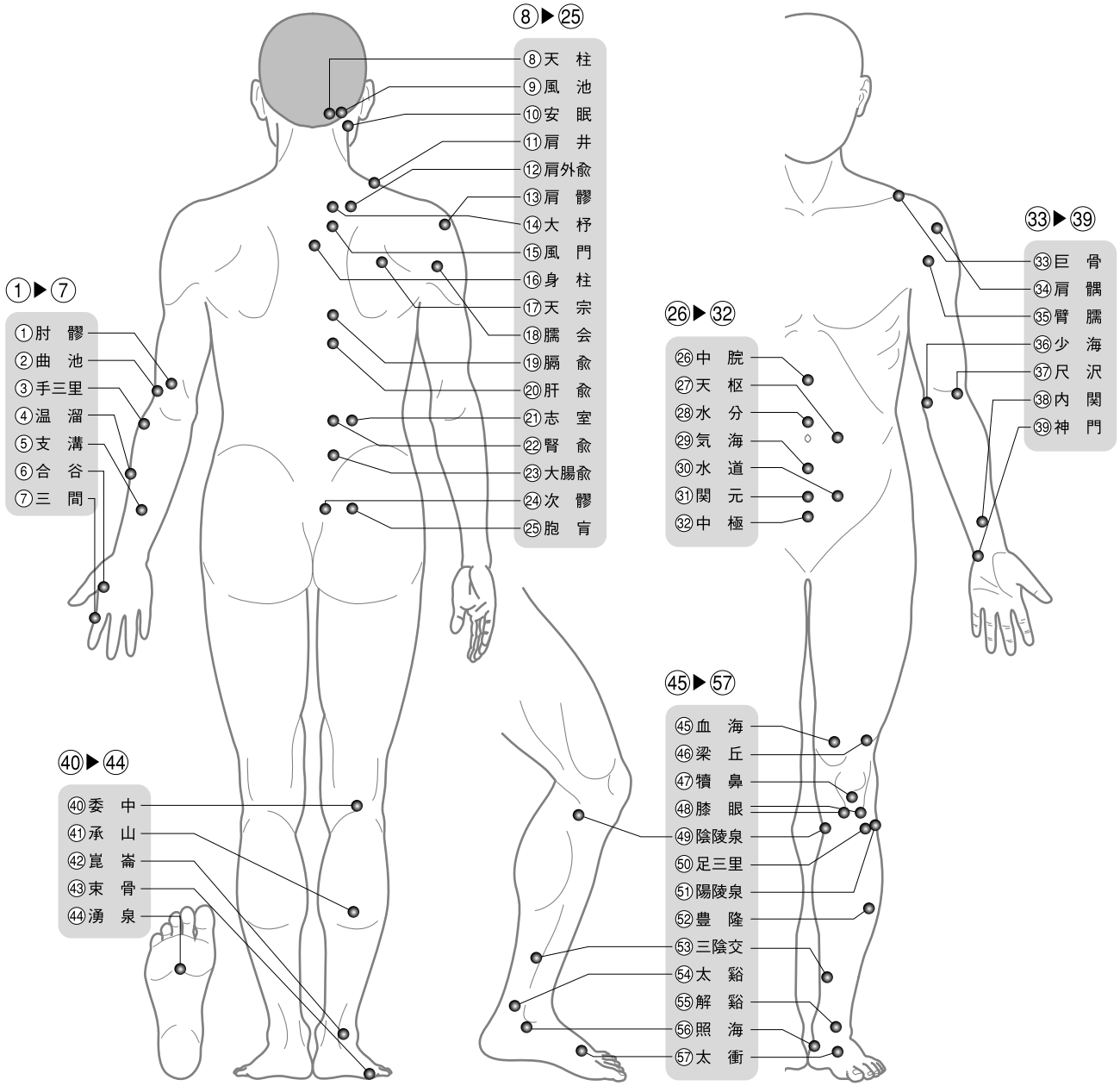
疑問・ご質問などのお問い合わせは
0120 0120-148-600
受付時間 午前9:00～午後5:00（土・日・祝日は休み）

施灸ポイント一例

●施灸ポイントは、左右対称です。
●ツボの位置は人により多少異なります。押してみて圧痛や気持ちよさを感じたポイントが施灸ポイントです。

●下記の項目が気になる方●

肩こり	⑪肩井 ㉝巨骨 ③手三里 ⑥合谷 ⑨風池 ⑧天柱
五十肩	㉞肩髃 ⑬肩髎 ㉟臂臑 ⑱臑会 ⑰天宗 ②曲池 ㊲尺沢 ③手三里
腰　痛	㉓大腸兪 ㉒腎兪 ㉑志室 ㉔次髎 ㉕胞肓 ㊵委中 ㊷崑崙
膝　痛	㊺血海 ㊻梁丘 ㊿足三里 ㊶陽陵泉 ㊾陰陵泉 ㊽膝眼
肘　痛	③手三里 ②曲池 ⑥合谷 ①肘髎 ㊱少海 ㊲尺沢
歯　痛	⑦三間 ⑥合谷 ③手三里 ④温溜
頭　痛	⑮風門 ⑯身柱 ⑨風池 ②曲池 ⑥合谷 ㊿足三里 ㊻照海 ㊼太衝
生理痛	㉙気海 ㉜中極 ㉒腎兪 ㉔次髎 ㊺血海 ㊸三陰交
こむら返り	㊿足三里 ㊶陽陵泉 ㊵委中 ㊶承山 ㊹湧泉
疲労回復	⑯身柱 ㉒腎兪 ㉖中脘 ㉛関元 ③手三里 ㊿足三里 ㊼太衝
身体がだるい	㉖中脘 ⑯身柱 ②曲池 ⑥合谷 ㊿足三里 ㊼太衝
目の疲れ	⑨風池 ⑥合谷 ②曲池 ㊸束骨
不　眠	⑩安眠 ⑯身柱 ⑳肝兪 ㊴神門 ㊿足三里 ㊹太谿
風邪をひきやすい	⑯身柱 ⑮風門 ⑭大杼 ②曲池
冷え性	㊳内関 ㉙気海 ㉖中脘 ㊿足三里 ㊸三陰交 ㊻照海 ㊹湧泉
頻　尿	㉛関元 ㉘水分 ㉚水道 ㉒腎兪 ㉔次髎 ㊿足三里
便　秘	㉗天枢 ⑤支溝 ㊴神門 ㊶陽陵泉 ㊿足三里 ㊻照海
下　痢	㉗天枢 ㉘水分 ㉛関元 ㉔次髎 ㊻梁丘 ㊷豊隆
胃　痛	㉖中脘 ㉗天枢 ㊳内関 ㊿足三里 ㊶陽陵泉
消化不良	㊳内関 ㉖中脘 ㉘水分 ㊿足三里 ⑲膈兪
食欲不振	㉙気海 ㉖中脘 ㊿足三里 ㊸三陰交 ㊷豊隆
足がだるい	㉒腎兪 ㊿足三里 ㊶承山 ㊺解谿



※無断転載を禁じます。